

# 2016年度 焼却炉維持管理状況

工場名:東京多摩工場

## 1. 処分した産業廃棄物の種類及び数量

単位:トン

産業廃棄物の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
汚泥	267	272	275	231	251	229	254	227	255	270	216	40
廃プラスチック類	73	102	79	73	88	90	93	82	94	96	103	22
動植物性残渣	174	256	220	200	227	227	253	225	248	240	237	64

## 2. 燃焼中のガス温度、集塵機に流入する燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度

<維持管理基準> <測定位置> 測定位置の詳細は工場において確認することができます。

燃焼ガス温度(°C)	: 800°C以上	流動床焼却炉出口
集塵機前ガス温度(°C)	: 約200°C以下	バグフィルター入口
排ガス中の一酸化炭素濃度(ppm)	: 100ppm以下	バグフィルター出口

<測定結果>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
燃焼室中のガス温度(°C)(※)	818	818	816	817	828	819	815	816	816	816	815	815
集塵機に流入する燃焼ガス温度(°C)(※)	172	172	174	176	176	176	176	175	175	175	176	177
排ガス中の一酸化炭素濃度(ppm)(※)	8.8	4.8	2.7	4.1	7.2	9.0	5.1	3.6	2.2	2.8	2.4	3.8

(※)連続測定器の月平均値

燃焼室中のガス温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、排ガス中の一酸化炭素濃度は連続測定しています。連続測定データは工場でご覧することができます。

維持管理計画(焼却施設の技術上の基準:維持管理基準)は工場でご覧することができます。

## 3. ばいじん除去の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ばいじんの除去を行った日	4月26日	-	6月7日	7月28日	-	9月14日	-	11月7日	12月19日	1月16日	-	3月9日

## 4. 排ガス中のダイオキシン類の濃度、ばい煙量又はばい煙濃度

	ガス採取位置	採取日	結果を得た日	維持管理基準	測定結果
ダイオキシン類濃度(測定頻度:年1回以上)	バグフィルター出口	2016.8.25	2016.9.26	10 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	0.00021

ばい煙濃度①(測定頻度:年2回以上)	ガス採取位置	採取日	結果を得た日	維持管理基準		測定結果
	バグフィルター出口	2016.8.25	2016.9.13	硫黄酸化物	7.31 m <sup>3</sup> /h以下	0.46
バグフィルター出口	2016.8.25	2016.9.13	窒素酸化物	250 cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N以下	140	
バグフィルター出口	2016.8.25	2016.9.13	ばいじん	0.25 g/m <sup>3</sup> N以下	0.002	
バグフィルター出口	2016.8.25	2016.9.13	塩化水素	700 mg/m <sup>3</sup> N以下	13	
ばい煙濃度②(測定頻度:年2回以上)	ガス採取位置	採取日	結果を得た日	維持管理基準		測定結果
	バグフィルター出口	2017.2.11	2017.3.1	硫黄酸化物	7.31 m <sup>3</sup> /h以下	0.78
バグフィルター出口	2017.2.11	2017.3.1	窒素酸化物	250 cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N以下	140	
バグフィルター出口	2017.2.11	2017.3.1	ばいじん	0.25 g/m <sup>3</sup> N以下	0.01	
バグフィルター出口	2017.2.11	2017.3.1	塩化水素	700 mg/m <sup>3</sup> N以下	49	